

オーケストラ・コンサート情報満載!

# 38 ORCHESTRAS

日本オーケストラ連盟ニュース  
加盟オーケストラ コンサート情報 2022年1月~3月  
~コンサート津々浦々~



Asia **Orchestra** Week 2021

## アジア オーケストラ ウィーク 2021



### Contents

アジア オーケストラ ウィーク2021 .....	2
オーケストラ公演を全国に届けることは素晴らしい .....	4
コロナ禍での 第19回東京国際音楽コンクール(指揮)の成功 .....	6
<b>【新聞記者の目】</b> オーケストラの魅力配信で伝わる? —— 西原幹喜 .....	7
パリより ~コロナ禍の欧州オーケストラ界を振り返る 2021年10月 ...	8
News & Topics .....	9
コンサート津々浦々 .....	10
インフォメーション .....	20

# AOW Orchestra Week 2021

アジア オーケストラ ウィーク

10.4 MON. ~ 7 THU. 19:00 (開場18:00)

東京オペラシティコンサートホール

文:林昌英(音楽ライター) 写真:藤本史昭

静寂から感動へ 未来へつなぐハーモニー



大阪フィルハーモニー交響楽団

## 10.4 MON. 大阪フィルハーモニー交響楽団

指揮/秋山和慶 ピアノ/児玉 桃

- グエン・メイツイ・リン / 「穏やかな風」オーケストラのための
- 細川俊夫 / 月夜の蓮  
—モーツァルトへのオマージュ—  
ピアノとオーケストラのための
- ベートーヴェン /  
交響曲第5番ハ短調 作品67「運命」

## 10.5 TUE. 読売日本交響楽団

指揮/藤岡幸夫

ヴァイオリン/成田達輝

- イサン・ユン / Bara (1960)
- 陳剛 & 何占豪 /  
ヴァイオリン協奏曲「梁山伯と祝英台」
- ドヴォルザーク /  
交響曲第9番ホ短調作品95「新世界より」

## 10.6 WED. 東京フィルハーモニー交響楽団

指揮/三ツ橋敬子 語り・歌/大山大輔

- 富田 勲 / 「新・ジャングル大帝」2009年
- ドビュッシー / 月の光
- ストラヴィンスキー / 「火の鳥」(1919版)
- 富田 勲 / 「ドクター・コッペリウス」  
Rise of The Planet 9より

## 10.7 THU. セントラル愛知交響楽団

指揮/角田鋼亮 ヴァイオリン/辻 彩奈

- 山田耕祐 / 序曲二長調
- 貴志康一 / ヴァイオリン協奏曲
- ペルト / 東洋と西洋
- ドビュッシー / 交響詩「海」

2001年に開始された「アジア オーケストラ ウィーク」(AOW)は、アジア太平洋地域の各国のオーケストラと作曲家、そして楽曲を日本で体験することのできる、他に類を見ない壮大な企画である。私たち日本在住の聴衆にとっては貴重な機会であり、各国の楽団にとっては日本ツアーの実現が経験の蓄積になる。双方にとって文化交流としての価値は大きい。

2019年まで途切れることなく続いてきたAOWだが、昨2020年は世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止を余儀なくされた。しかし、2021年は、海外楽団の渡航は叶わなかったものの、代わりに国内の4楽団が登場する形でAOWを再開することができた。これまでもAOWには国内楽団が登場していたことで趣旨は外れないし、まだイベント実施が不安定だった時期に意義を損ねずに実現できたことは、とにかく幸甚だった。

そして、10月上旬に東京オペラシティコンサートホールで開かれたAOWの4公演は、「なんとか開催した」という次元をはるかに超えた、有意義かつ顕著な成果を得られた演奏会になったことは特筆しておきたい。各回ともアジア近現代の稀少な楽曲とヨーロッパの有名曲が組み合わされたプログラムが用意され、各楽団と指揮者の特質が存分に発揮された、音楽の喜びにあふれる熱演ぞろいとなったのである。殊に心に刻まれる体験となっ

たのは、日本を含めたアジアの作品、それも楽器や声とオーケストラが協奏する“合わせもの”の作品群だった。

## 10.4 大阪フィルハーモニー交響楽団

初日は大阪フィルが登場。秋山和慶の指揮で、最初にベトナムのグエン・メイツイ・リンの心地よい小品「穏やかな風」、続いて児玉桃のピアノとの共演で細川俊夫の「月夜の蓮」が演奏された。何かを希求し続けるような細川の音楽と、厳しくも美しい児玉のピアノの音色が深く印象に残った。後半はベートーヴェンの交響曲第5番「運命」。



## 10.5 読売日本交響楽団

2日目の読売は、韓国=ドイツのイサン・ユンの現代的で峻厳な「Bara」、中国の陳剛&何占豪のヴァイオリン協奏曲「梁山伯と祝英台」を演奏。後者は20世紀中国の生んだ屈指の人気作品で、楽しくも胸に迫る名旋律にあふれる逸品。こういう音楽をこよなく愛する、指揮の藤

読売日本交響楽団



岡幸夫とヴァイオリン独奏の成田達輝が胸のすくような快演を聴かせて、大いに会場を沸かせた。後半はドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」。



## 10.6 東京フィルハーモニー交響楽団

3日目の東京フィルは、前半に富田勲の交響詩「新・ジャングル大帝 2009年」を取り上げた。昭和を代表する漫画家、手塚治虫のアニメ作品の音楽を数多く担当したのが富田勲で、特によく知られているのが「ジャングル大帝」。今回の版は、かつて子ども用に作っていた複数のオーケストラ編曲を、2009年に大きくまとめ直したもの。語りと歌付きで1時間近い大作だが、オペラを得意とする東京フィルと指揮の三ツ橋敬子がすばらしい演奏を実現し、語りの大山大輔が冒頭と結尾ではテーマソングを雄大に歌い上げた。楽団員個々人の思いまで感じられるような、パワーと情感に満ちた大熱演が聴衆の興奮を誘い、感銘を与えたのである。後半はストラヴィンスキーのバレエ音楽「火の鳥」組曲(1919年版)、富田勲の遺作「ドクター・コッペリウス」結尾の音楽ほか。



東京フィルハーモニー交響楽団



## 10.7 セントラル愛知交響楽団

最終日はセントラル愛知響が登場。角田鋼亮の指揮で、山田耕筰の爽やかな序曲ニ長調に続き、20世紀前半に若くして活躍した貴志康一のヴァイオリン協奏曲。貴志の代表作ながら、40分ほどの大作で、演奏機会は稀少だった。それが体験できるだけでも嬉しい機会だが、独奏の辻彩奈は暗譜で臨み、歌心と熱気あふれる見事な演奏で、本作の価値を証明したのである。後半はベルトの「東洋と西洋」とドビュッシーの交響詩「海」。プログラム全体も、西洋の機知と日本の情緒の邂逅を浮かび上がらせる、考え抜かれたものだった。



最初にも記したように、AOWの果たしてきた文化的意義の大きさは計り知れない。これまで招聘した楽団の国名を挙げると、楽団数の多い中国、韓国をはじめ、東南アジアからはタイ、フィリピン、シンガポール、ベトナム、マレーシア、インドネシア、他にもモンゴル、インド、スリランカ、トルコ、さらにはオセアニアのオーストラリア、ニュージーランド。一望するだけでも国の数の多さ、対象地域の広さがわかるだろう。これほどの規模感のオーケストライベントは、世界でも類を見ないものである。

AOW20年間の大きな節目が、図らずも象徴的なタイミングに重なってきたことも指摘しておきたい。10周年に当たる2011年は東日本

セントラル愛知交響楽団



大震災。直後の混乱と自粛を経て同年のAOWは実現したが、そこで招聘した楽団のひとつが、ニュージーランドのクライストチャーチ交響楽団。同年2月22日に同国で大地震が発生、殊に被害が大きかった都市がクライストチャーチだった。近い時期に大震災を体験した両国が、AOWの場で連帯を示したのである。そして、世界的な新型コロナウイルスによる影響で2020年は休止したものの、20周年に当たる2021年は国内楽団による好企画という形で実現。自由なイベント開催がまだ難しかった夏の時期での開催発表は、明るい話題として楽壇の注目を集めた。

それぞれの災厄は辛く不幸なものであり、文化活動は多大な(ときに理不尽なほどの)悪影響を受けた。しかしながら、起きてしまった不幸を乗り越えるときに、有意義かつ力のあるメッセージを発することができるのもまた、文化芸術のもつ力である。AOWの節目の年がそういったタイミングになったことで、AOWがもつ意義と底力を象徴することになったとは言えるだろう。

日本オーケストラ連盟には、「未来へつなぐハーモニー」という標語のためにも、AOWが世界屈指の壮大な規模と広がり、そして限らない可能性をもつ特別な文化事業であるという意義をもっと世の中に広く伝えていってほしい。実のところ、これまで登場したアジア楽団の多くは、AOWでなければ接する可能性はほとんどなかったはずで、それら一つひとつの公演が、真に無二の体験となっているのである。AOWをはじめとした同連盟による重要な企画の数々が、今後も継続と発展をしていくことを期待してやまない。

主催:文化庁芸術祭執行委員会 共催:日本経済新聞社 特別協賛:新菱冷熱工業株式会社 協力:東京オペラシティコンサートホール 制作:日本オーケストラ連盟

アジア オーケストラ ウィーク2021  
YouTube配信のお知らせ

日本の4楽団による特別なAOW2021を約2時間に凝縮してお届けします。  
是非ご視聴ください♪ <https://www.orchestra.or.jp/aow2021/stream/>



# オーケストラ公演を全国に

～令和2年度第3次補正予算「アートキャラバン事業」を通して～

**参加者** 後藤 純悦(山形交響楽団 事業局長兼企画営業部長)

床坊 剛(オーケストラ・アンサンブル金沢 オーケストラ担当部長)

宇津志 忠章(広島交響楽団 事業部課長)

**進行** 桑原 浩(日本オーケストラ連盟専務理事・事務局長)

コロナ禍にあって、国は様々な形で芸術家、芸術団体の支援をおこなった。その中で公益社団法人日本オーケストラ連盟は「アートキャラバン事業」として全国で47の公演(21楽団)を計画することが出来た。以下の座談会は全体のほぼ2/3の公演が終わった段階で開催した。コロナ禍の中で、芸術団体が経済的に救われるだけでなく、改めてクラシック音楽を提供している団体として、気づくことなどが多くあった。



——令和2年度の補正予算として、コロナ対策の事業の一つとして行われた国の「アートキャラバン事業」ですが、楽団の運営上大きな助けになりましたか？

**後藤** 大変助かりました。入場料収入のリスクもありましたが、それも小さくされているので確実な利益を見込むことが出来ました。

**宇津志** 私たちは2公演でしたが、山形公演においては地元の山形交響楽団の協力が有り

入場者を確保する面で助かりました。また上田公演(長野)はもともとコロナで計画が中止になり、公演の目途が立っていない中今回の助成で実現することが出来ました。

**床坊** もともと山陰地方で計画されている演奏会の前に、途中の街(岡山県津山市、鳥取県日南町)で公演が出来たことは、経済的にも助かりました。

——準備から実施の期間が短かったかと思いますが、どのような苦労がありましたか？  
広報・券売は？

**宇津志** 山形公演の準備期間は1か月しかなく、通常でしたら広報も券売ももっと苦労していたはずですが、地元の山形交響楽団が協力してくれたことが大変大きかったと思います。

**後藤** 私たちも最初の公演は時間が無くしてチケット販売は厳しかったですが、岩手県内の2都市(岩手県釜石市、

一関市)で行ったので、広報宣伝が効率よくできたことが幸いました。

——オーケストラにとっては遠隔地での自主公演の形になりましたが、どんな苦労がありましたか？  
現地ホールとの間に今後も役に立つネットワークは出来ましたか？

**床坊** 演奏会の広報及びチケットの販売業務は地元のホールに委託するわけですが、地元自治体の感染拡大への不安から公演開催への制約が多く、広報が十分にはできなかった。入善は隣県(富山県)であり、これまでも公演を行いたいと思っていたところ。ただし客席数などの理由で実施できていなかった。今回実現できたのはありがたく、今後も連携は続いていくと思う。津山は久しぶりの訪問で、プロオケの公演がないということもあり大変歓迎された。機会があれば次に繋がるものだった。



床坊 剛(オーケストラ・アンサンブル金沢 オーケストラ担当部長)

**後藤** 釜石も一関もホールの熱意があり、今後繋がる関係が出来たと感じた。

——きっかけはコロナ対策としての支援事業でしたが、地元でない都市での公演という事で何かお感じになられたことは？

**後藤** 山形は大きな都市ではないので、いろいろな町を回らなければという思いでいますが、予算、チケット販売など課題は多い。例えば一関は人口10万人の都市ですが固定的な聴衆は200人程度。今回アートキャラバンで予算がついたことでPRもできるので「やってみよう」ということになった。ホール側に熱意があって実現できた。ある程度定期的にかかると、基礎的な聴衆は育たない。

**宇津志** 広響が今回行った2か所のうち山形は山響がある町なので、聴衆がオケに慣れており、温かさを感じた。オケが活動している土地を訪れるのはとても良い経験だった。ホールとは情報交換など良い関係が築けた。上田のホールも4年目だが、とても積極的に事業に取り組んでいるホール。両ホールともやりにくさや不安を感じることはなかった。広響は学校公演以外県外での公演がないので今回の経験は大変刺激になったので、今後もこうした機会は生かしていきたい。

**後藤** 大変刺激になった。山響の会員にも広響の公演を案内したが、「聞き比べができてよかった」という声もあり、楽団員も聞きに行き刺激になったよう

# 届けることは素晴らしい

だ。相互にオケの往来ができることはとても良いことだと感じた。

**床 坊** オーケストラ・アンサンブル金沢(以下 OEK)は今回のアートキャラバンでは大きな都市での公演はなかった。小規模のホールへオーケストラが訪ねるのは大変意義のあることだったと思う。特に津山は最近オーケストラの公演がなかったし、日南にはオーケストラの訪問実績がないのでそこに行けたことは大変意義がある。一方、今回の事業では3つのオケ(大阪響、セントラル愛知響、日本フィル)が金沢に来てくれたのは良い機会だった。地域の聴衆にとって聴き比べができ刺激になったし、地方都市でサマーフェスティバルのように開催できたのはよかったと思う。

——今回は時間がない中でオーケストラとホールの空き状況を調べ、やや強引に演奏会を計画しました。今後全国にこれだけ立派なホールがあるなかでどうやったらうまくネットワークを築き、演奏機会の構築ができるでしょうか？

**後 藤** 地元では企画制作できる人材が少ない。今回の岩手の二つのホールには熱心な人がいて、既にホール間のネットワークができていた。やはり、各所に優れた人材がいるかという事が重要です。指定管理者制度の課題かもしれません。



後藤 純悦(山形交響楽団 事業局長兼企画営業部長)

**宇津志** 広島市は、貸館を主体にしているところが多く、主催事業をしているところが少ない。もっと行政に働き掛けないといけないと思う。ホールがあるのにソフトを作っていく土壤がないのが残念。隣県である岡山、山口

と関係を築けているかと問われると、築けていないのが実情。

**床 坊** 石川県も大きな県ではないので、北陸で唯一のプロオケの役目として、当エリアのホールとも新たな連携を築いていかなければいけない。そうしないとオケの聴衆は増えていかないと思う。

——今後もこのような支援が仮にあるとしたら、行ってみたい地方公演などありますか？

**宇津志** 九州での公演も検討中なので、もしあれば大変ありがたい。また大阪から東に行くとなると、費用の面からも難しいところもあるのでこうした支援があるのであれば、活用したい。

**床 坊** 北陸新幹線の延伸計画もあるので活動のエリアを広げたい。OEKは小さなオケなので、小さなホールでも公演ができる。良いホールだが、客席数の状況から公演をできていないホールはたくさんある。より沿線のすみずみまで行き渡る活動をしたい。

——オケが各地域を結び、ネットワークを作る役割を担うのがいいかもしれないですね。国の事業として現在行われている全国の学校を訪ねる巡回公演とうまく組み合わせることで公演を行うことが出来れば、オーケストラが地方での一般公演を増やすことができるのではないかと思います。今回ご縁ができた地方との関係は大切にしてほしい。今回の経験を活かし、地方公演の重要性を伝えていきたいですね。

**床 坊** OEK や京都市響、兵庫芸文センター管などはホールと一体となって活動する楽団です。OEKの本拠地石川県立音楽堂は外からオーケストラをどんどん呼んで公演をやっているかと言えばそうではない。ホールの空き状況、ホールの年間の事業も決まっています、他のオーケストラの公演を入れていくには、地域の聴衆の数と公演数の全体的なバランスから悩ましいのかもしれない。しかしながら聴衆は今回金沢という地方都市

で、複数のオケの公演が聴けるといいう良い機会をもった。今後、広響、山響さんにも金沢に来て演奏してほしい。こうした事業は、継続することが大事だと思うし、聴衆のオーケストラに対する期待度が高まり、各オーケストラの意識も高まると思います。

——その結果、恒常的にオーケストラを楽しんでいただける聴衆も増えることにつながるかもしれませんね。聴衆がオーケストラを育て、オーケストラが聴衆を育てるその結果、好循環が生まれる。ミュージアム川崎のようなフェスティバルにできると良いかもしれませんね。

**宇津志** こうした事業で可能性が広がる。東京や大阪に偏らないことは、町としても面白いのではないかと。広島だと、広響以外のプロオケを聞く機会が少ないので、他のオーケストラが聞ける機会が出来た方が全体的なパイが広がると思う。それがホールの必要性にも広がると思う。広島にも是非新しいホールが欲しいのです。



宇津志 忠章(広島交響楽団 事業部課長)

オーケストラは人数も多く、そのため予算も多く必要となる。そのため大都市中心で演奏会を行うことが多くなるが、現在の日本には中小の都市にもオーケストラの演奏が可能な舞台を持つ素晴らしいホールが数多くある。

今回の「アートキャラバン事業」を通して、改めてその事実気づき、文化芸術を享受する機会が大都市中心ではいけないという事を再認識する機会となった。そのためにはオーケストラが媒体となって地域のネットワークを作ること、地域に人材を育てることの重要性を感じた。(桑原 浩)

# コロナ禍での 第19回東京国際音楽コンクール 〈指揮〉の成功

日本オーケストラ連盟 専務理事 桑原 浩



優勝したジョゼ・ソアーレスさん（ブラジル）

世界中の芸術文化活動が新型コロナウイルス感染症のためにその活動が困難ななか、「第19回東京国際音楽コンクール〈指揮〉」は開催された。国際コンクールは多くの外国人の来日環境を整えること、多くの人間の集合体であるオーケストラとの共演の環境を整えること、コンクールを楽しむにしているかつその成功に必要な不可欠であるお客様を迎えること、問題は山積みのなか9月27日（月）の第1次予選から、10月3日（日）の本選まで東京オペラシティコンサートホールで開催された。

3年前の第18回大会では1位から3位までを日本人が独占し、優勝した沖澤のどかさんのコンクール後の活躍もあり、大きな期待感の中での開催となった。審査員は新しく審査委員長になった指揮者の尾高忠明のもと海外からシャーン・エドワーズ（イギリス：英国王立音楽院）、オッコ・カム（フィンランド：指揮者）、ライナー・キュッヒル（オーストリア：ヴァイオリニスト）、ユベール・スターン（オランダ：指揮者）、準・メルクル（ドイツ：指揮者）の5名、日本からは広上淳一、高関健、梅田俊明の3名の指揮者が招かれた。

## 書類映像審査、過去最多の応募

49カ国、331名の応募があり、その結果第1次予選には14名が通過、うち2名が棄権し12名での開催となった。日本6、ロシア2、イギリス、ドイツ、ブラジル、フランス各1、男性10、女性2の内訳となった。

## 第1次予選

緊急事態宣言が発令されている中、無観客での開催（本選のみ有観客で実施）。ベートーベンの交響曲第2番より指定された部分を決められた時間内に必ず1回は演奏しなければならない。途中オーケストラを止めて指示することは自由。表現したいことをどう効率的に伝え全体の時間に収めるか、音楽性と共に指揮者が求められるリハーサル計画性もここでは求められ、そ

の結果、石坂幸治、米田覚士（日本）、バーティエ・ベイジェント（イギリス）、ルカ・ハウザー（ドイツ）、ジョゼ・ソアーレス（ブラジル）、サミー・ラシッド（フランス）、ミハイル・メリング（ロシア）の7名が第2次予選に進むことになった。

ひとえに若い指揮者と言っても、すでにある程度の指揮活動をしていて、ある意味での指揮の要領を心得ていてオーケストラへのストレスを考えられる人から、まだほとんど経験のない人まで幅は広い。

しかしコンクールの場においては審査員、オーケストラからは丸裸にされると言っても過言でない。その指揮者の持っている、音楽的な才能、創造に対する渴望といったものが評価される。もちろん基礎的な指揮の技術は重要で。

## 第2次予選

第2次予選ではチャイコフスキーの交響曲第4番と三善晃の交響三章、モーツァルトの歌劇「ドン・ジョヴァンニ」よりアリア（Sop: 佐藤亜希子）、チャイコフスキーの「ロココ風の主題による変奏曲」（Vc: 横坂 源）から、それぞれ定められた部分を演奏した。1次予選では音楽の基礎的な表現が問われるが、2次予選では指揮をするためのあらゆるエッセンスを問われる。

三善作品など外国からの出演者にとっては未知のものではあるが、現役の指揮者でも非常に指揮が難しいこの曲で指揮の技術・本人にとって未知なる作品への適応力が審査される。ここまでの審査により300人以上の応募者の中から本選参加が認められたのは、J. ソアーレス、B. ベイジェント、S. ラシッド、米田覚士の4名。

## 優勝は最年少、J. ソアーレス

課題曲であるロッシーニの歌劇「どろぼうかささぎ」序曲に加え、各自が選んだ自由曲の演奏となる。J. ソアーレスはストラヴィンスキーの「バトゥーシュカ（1947）」、S. ラシッドはサン＝サーンスの交響曲第3番、B. ベ

イジェントはR. シュトラウスの交響詩「死と変容」、米田覚士はチャイコフスキーの幻想序曲「ロメオとジュリエット」を選んだ。

もちろん本人が選んだものではあるが、この選曲自体がその時の自身の本選において効果的であったかも要素の一つになる。（演奏順の運もあるかもしれない）。結果は、優勝は最年少ではあるものすぐれた指揮の技術と情熱をもって音楽に立ち向かっていったJ. ソアーレス輝いた。

2位には既に優秀なチェリストでもあり指揮経験少ないS. ラシッドが持っている音楽の深さを武器に食い込んだ。3位は音楽をすること、意思をオーケストラに伝えることに秀でたB. ベイジェント、斎藤秀雄賞も合わせて受賞。

入選・奨励賞には米田覚士（写真下）。また聴衆の投票による聴衆賞はJ. ソアーレス、本選のオーケストラのメンバーの投票によるオーケストラ賞はB. ベイジェントが受賞した。

オーケストラにとってコンクールの伴奏をするのは時間も長く、同じ曲を繰り返すことも多く大変厳しい仕事だが、受験者の皆さんの将来がかかっていること、新しい才能が見出される最前線にいるという期待感を胸に、熱い演奏を届けてくれた。第1次、第2次予選は東京フィル、本選は新日本フィルが担当。

コロナ禍という困難な状況の中、コンクール事務局ほか関係者の皆さんの「何とか成功させよう」という熱い思い無くしては今回のコンクールの成功はなかった。



受賞者、審査員の皆さんによる記念撮影

# オーケストラの魅力 配信で伝わる？

西原幹喜  
(日本経済新聞社 記者)



## 「リモート」の戸惑いと発見

新型コロナウイルス禍を経て、取材も会議もリモートが定着しつつある。不便さを感じることは数多い。同時に話し始めてしまったり、譲り合って沈黙してしまったり。表情や雰囲気、語気から読み取れる情報は、対面と比べると圧倒的に少ない。言葉を使う仕事でありながら、多くの部分で言葉以外のコミュニケーションに頼っているのだと痛感させられた。

便利さもおおいに感じる。海外にいる人とは、むしろリモート上だからこそ「会おう」と思うことが増えた。やりとりをする際のハードルは、時差ぐらい。海外へ渡航することは難しくなったが、海外の人とコミュニケーションする心理的ハードルはかなり下がったような気がする。

やはり直接に会う方が機微を感じたり、伝えたりはしやすいが、リモートならではの面白さもある。相手が自然の中に住んでいる人のときには、鳥の声が聞こえたことも。普段着で、自宅で話をしてもらえると、少しだけ親密になったような気がする。プライベートな空間に招き入れてもらったような。リラックスモードだからか、会議室なんかよりも話が弾むようなこともある。

## 素顔を写し込んだ「リモート合奏」



新日本フィルハーモニー交響楽団：  
リモート演奏「パプリカ」スクリーンショット

最初の緊急事態宣言が出された2020年春ごろ、新日本フィルハーモニー交響楽

団メンバーによる「パプリカ」のリモート合奏に、多くの人が胸を打たれた。この動画がYouTubeで公開された直後、楽団には少なくない寄付が寄せられたという。普段、コンサートホールに足を運んだことのない人からの支援も多かったそうだ。

なぜ、多くの人々の心を動かしたのだろう。話すのさえ苦勞するリモートなのに、合奏ができるプロの技術はもちろん素晴らしい。だが、コンサートホールでオーケストラの音を体中に浴びる体験と比べものにはならない。

バッチリと正装し、ひのき舞台に立つオーケストラプレイヤーの方々は、多くの人にとって縁遠い存在だ。だが動画に映ったプレイヤーは普段着で、おのおのいろんな部屋にいる。趣味が垣間見えたり、子どもが映り込んでいたりも……。動画のコメントを見ても、こうしたところに親近感を覚えた人が多いようだった。誰だって、身近に感じている人が、苦しい中でも頑張っている姿を見ると、応援したくなる。

## ショパン国際ピアノコンクールのドキュメントが教えてくれたこと

この10月に本選が開催されたショパン国際ピアノコンクールは、配信を通じて世界中の人がコンテストたちを応援した。高画質・高音質で最高峰の演奏が聴けることは、大変魅力的だった。さらに、ステージに上がる直前の緊張した姿に固唾を呑み、演奏後の安堵の表情を見て一緒にホッとした。審査員や聴衆、そして自分自身とショパンに対峙する若者たちのドキュメンタリーとしても、一級品だった。

コロナ禍で、音楽を含めてたくさんの舞台芸術が動画配信に取り組むようになっている。配信に対する国や自治体が

助成も後押しとなった。緊急事態宣言が何度も発出され、家に閉じこもって映像作品を楽しむ機会は格段に増えた。舞台芸術における動画配信の活用は、コロナ禍の急場しのぎにとどまらず、コロナ後にも一定定着するだろう。

ただ、動画コンテンツは世の中にあふれている。名作映画などが簡単に見られるだけでなく、ドラマやドキュメンタリーでは劇場公開を前提としない作品でも、良質な作品が増えた。ライバルは多い。

## オケのプレイヤーの素顔や舞台裏も

クラシックの場合、生の音楽の素晴らしさ故に動画コンテンツとしてのハンディは大きい。だからこそ、生の音楽に価値があるともいえるが。一コンテンツとしての付加価値をかんがえれば、演奏を配信するだけでなく、音楽家の素顔や舞台裏がチラリとのぞけるような発信があれば、そして楽屋オチで興奮めにならない程度であれば、魅力は高まるのではないかと思う。

指揮者やソロとして活動する音楽家だと、SNS(交流サイト)を使った発信がずいぶん増えている気がする。オーケストラでも、プレイヤー一人ひとりのことが知りたい。個人的にも、演奏会に足を運んでいると、わざわざ聞かないけれども気になるようなことはたくさんある。例えば、演奏が終わった後に、奏者同士で譜面を指して言葉を交わしていると「何を話しているんだろう」と、とても気になってしまう。指揮者や評論家によるプレトークやアフタートークは多少あったりするが、プロ野球のヒーローインタビューのようなものがあるのも面白いのではないかとかんがえている。



# パリより

## ～コロナ禍の欧州オーケストラ界を振り返る 2021年10月

音楽評論家 クリスティアン・メルラン

2019年3月——ヨーロッパ諸国のほとんどが文化施設の閉鎖に踏み切った。あわせてフランスは、厳しい外出禁止令を発令し、生活必需品の買い物に移動許可証の提示を義務づけた。この前代未聞の状況のさなかに音楽愛好家たちを何よりも困惑させたのは、静まり返ったコンサートホールだった。経済面では、ヨーロッパ大陸諸国よりも英国のオーケストラ界のほうが、より深刻な影響を受けている。じっさい、ヨーロッパ大陸の多くの楽団は、国ないし地方自治体からの公的な助成金や、各国政府による一時的失業者むけの大きかりな給付政策によって、急場をしのいだ。しかしロンドンの主要オーケストラは、もともと「働かざるもの食うべからず」を実践する独立採算・自主運営の組織であることから、かなり早い段階で存続が危ぶまれた。サイモン・ラトルら著名な演奏家たちは、メディアに警鐘を鳴らした。欧州連合(EU)離脱のあおりで苦境に立っていた英国の楽団が、新型コロナウイルス感染拡大後に政府から十分な資金援助を受けられず、さらなる窮地に陥っていると訴えたのである。



各国がロックダウン(都市封鎖)を実施すると、ヨーロッパのオーケストラはすぐさまインターネットを駆使した。各自の家で演奏する楽員たちの様子を、無数に分割された画面に一齐に映し出して動画を配信する手法が回帰し、とりわけロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団によるベートーヴェンの交響曲第9番の演奏動画は、多くの人々の胸を打った。ステイホーム中のフランス国立管弦楽団の楽員たちも、ネット上でラヴェル『ボレロ』の合奏を成功させている。

2020年5月1日、新型コロナウイルスの感染拡大後はじめて、欧州のオーケストラがコンサートホールに帰ってきた。キリル・ペトレンコ指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団が、ベルリン・フィルハーモニー・ホールにて、無観客および小編成(室内アンサンブル)で「ヨーロッパ・コンサート Europakonzert」を開催したのだ。この公演は生中継・生配信され、筆舌に尽くしがたい感動を呼び起こした。5月27日にはフィルハーモニー・ド・パリで、パリ管弦楽団のコンサートマスター、フィリップ・アイシュを中心に、少数の楽員たちが室内楽コンサートを開いた。奏者間

の距離に応じた感染リスクを検証する科学的な調査がおこなわれたのもこの時期で、その結果、フランスのオーケストラでは弦楽器奏者に1メートル(ドイツでは1.5メートル)、管楽器奏者に1.5メートル(ドイツでは2メートル)のソーシャルディスタンスが求められるようになった。6月には公共放送局ラジオ・フランスが、局内のオーデトリウム(音楽堂)と設備を活用して、同局が運営する二楽団、フランス国立管弦楽団とフランス放送フィルハーモニー管弦楽団の演奏を、ケント・ナガノ、ダニエル・ハーディング、フランソワ・グザヴィエ＝ロラの指揮で収録・配信した。ただし、管楽器の飛沫の飛散に関しては安全性が不確かであるとして、両団とも弦・打楽器からなる小編成で演奏にのぞんだ。



2020年夏の国際音楽祭は軒並み中止された。例外的に開催までこぎつけたザルツブルク音楽祭は、出演者たちにウイルス検査と移動後の自主隔離を義務づけるなど衛生管理を徹底し、大規模な音楽イベント開催の先鞭を着けることになった。この年のザルツブルク音楽祭では、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団が通常の編成で、楽員間のソーシャルディスタンス無しに《エレクトラ》を演奏している。同年9月・10月には各地のホールが営業を再開したものの、11月から翌2021年5月・6月まで、再び閉鎖を余儀なくされた。ただしこの期間中、オーケストラが無観客で演奏することは許可されていたため、いずれの楽団もすばやく行動を起こし、公演の動画配信や収録の回数を増やした。ラジオ・フランスやドイツ各地の放送局も積極的に演奏会を放送し、公的サービスの充実に努めた。いっぽうフィルハーモニー・ド・パリは、動画配信プラットフォーム「フィルハーモニー・ライブ Philharmonie Live」を展開。これによりシーズンなかばでの活動中止を免れ、新音楽監督クラウス・マケラとの関係を深める貴重な機会を得た。同じくパリのオペラ・バステュー(フランス国立歌劇場)は、ワーグナーの『ニーベルングの指環』四部作の演奏(コンサート形式)を無観客で実現させた。これは音楽監督フィリップ・ジョルダンの任期の最後を飾るプロジェクトとして、かねてから取り決められていた企画で、ラジオ・フランス傘下のクラシック音楽放送局「フラ

ンス・ミュージック France Musique」が全公演を録音した。幸運にもこの非公開の公演に招かれ取材した筆者は、歴史的瞬間に立ち会っているのだと身にしみて感じた。このとき目の当たりにしたパリ国立オペラ座管弦楽団の熱意を、一生忘れることはないだろう。

パリ以外の各地の劇場もさまざまな機転をきかせ、アイデアを競い合った。たとえばジュネーヴ大劇場がヤナーチェクのオペラ《マクロブロス事件》を取り上げたいには、事前に録音されたオーケストラの演奏が、ピットに置かれた多数のスピーカーから流された。これに合わせて、ピットに立つ指揮者と舞台上の歌手たちがオペラを上演したのである!



コロナ禍をきっかけに、フランスの地方オーケストラがより多くの聴衆に働きかけるチャンスを得たことも、また事実である。じっさい、トゥールーズ、リヨン、ストラズブル、モンペリエ、メスから、かつてないほど多くの公演がウェブを通じて世界に届けられた。継続は力なり——オーケストラには、スポーツ・チームと同じように、たゆみない合同トレーニングが必要不可欠である。「オーケストラは、ボタンを押していったん電源を切り、再び電源を入れられる機械とは違う」と、フィリップ・ジョルダンも力説している。だが、公的支援を受ける常設の楽団が演奏の火を燃やし続けるいっぽうで、多数の自主運営のオーケストラやアンサンブル——とりわけ古楽団体——は、より困難な状況に置かれている。彼らには固定給は保証されていないし、楽団の収入はツアーに大きく依存しているからだ。そうこうするうちに、ロンドン交響楽団を去ることを公にしたサイモン・ラトルは、ミュンヘンのバイエルン放送交響楽団のシェフに就任することを発表し、ドイツ国籍を求めた。これは明らかに、英国の文化政策の欠如に対する強い抗議である。とはいえずラトルは、ロンドン交響楽団を見捨てたわけではない。ラトルの指揮のもと、彼らの音楽拠点「LSOセント・ルークス」にて一楽員間で最大限のソーシャルディスタンスを取って一収録された公演は、ネット配信され、多くの音楽ファンを魅了している。



2021年6月以降、有観客の演奏会が目立ちはじめた。さまざまな制約や楽団ごとの違いはあ

るにせよ、オーケストラ界全体には少しずつ「日常」が戻ってきている。マスク着用、対人距離の確保、コロナウイルス検査、ワクチン接種などの感染対策に関しては、それぞれの組織が多様なスタンスをとっている。ミュンヘンでは、検査を拒否し無給の停職処分を受けた演奏家が、バイエルン国立歌劇場を提訴した。当然ながら、既存の法律で容易に対処できる問題ではない。他方、ワクチン接種率の向上を背景に、大半のオーケストラが通常編成での演奏会を再開している。一例を挙げておくと、今年7月にエクス=アン=プロヴァンス音楽祭で《トリスタンとイゾルデ》が上演された際には、74名の器楽奏者がオーケストラピットに入った。マーラーの交響曲の室内楽版を12名の奏者が演奏したり、あちこのオーケストラがR. シュトラウスの《メタモルフォーゼン》を取り上げたりする時期は、どうやら過ぎ去ったようである。



現在、ヨーロッパのオーケストラ界が新たに直面しているのは、「旅」に付いてまわる種々の厄介事である。国ごとに異なる入国規制のせいで、オーケストラの演奏旅行の手配は今までになく複雑になっている。それゆえにフィルハーモニー・パリは、2021/2022年シーズンの公演プログラムをまだ半分しか発表できずにいるし、以降のシーズンにいたっては、さらに先行きが不透明な状況である。とはいえ、彼らを横目に離れ業をやっている主催者たちもいる。なかでも、今年8月にラ・コート・サン=タンデレで開かれたベルリオーズ音楽祭は、監督のブルーノ・メッシーナの奔走により成功をおさめた。彼はフランスの首相官房と直談判し、来仏するヴァレリー・ゲルギエフとマリンスキー歌劇場一行のために特別入国許可証を勝ち取ったのだ。さらにメッシーナは、帰国直後の自主隔離などを考慮し、ジョン・エリオット・ガーディナー率いるオルケストル・レヴォリュショネル・エ・ロマンティックのために、ロンドン間はチャーター便まで手配したのだ。ヨーロッパのオーケストラ界、そして音楽界は、刻々と変化する「ウイズ・コロナ」の時代を生き抜くべく、模索を続けていくことになるだろう。 訳：西久美子

## クリスティアン・メルラン

フィガロ (仏) 音楽評論主幹

1964年パリ生まれ。ソルボンヌでワーグナーの楽劇及びウィーン・フィルの歴史の研究により博士号を得る。ディアバゾン、L'Avant-Scène Opéraなどの専門誌にも寄稿、ラジオ「フランス・ミュージック」のプレゼンターでもある。『偉大な指揮者たち』(ヤマハミュージックメディア)、『オーケストラ―知りたかったことのすべて』(みすず書房)ほか、ワーグナー、20世紀の指揮者に関する多くの著作がある。

## 群馬交響楽団 第43回 サントリー地域文化賞を受賞

群馬交響楽団は第43回サントリー地域文化賞を受賞しました。この賞はサントリー文化財団の目的に基づき、地域の文化向上に顕著な貢献をしたものに贈られるもの。受賞の理由は、戦後の荒廃の中、文化を通じた復興を目指し誕生した日本初の本格的な地方オーケストラで、75年以上にわたり地域と日本の音楽文化の発展に貢献してきたことに加え、コロナ禍における創意工夫を凝らした挑戦が高く評価された。



新たな本拠地、高崎芸術劇場の群馬交響楽団

## 著名国際コンクールでの 日本人若手演奏家の活躍

ワルシャワで開かれた第18回ショパンコンクール(10月21日)において反田恭平さん(27)が第2位に、小林愛実さん(26)が第4位に入賞した。ショパンコンクールは1927年始まり、5年に一度開催される。チャイコフスキーコンクールと並んで世界的に著名なコンクールの一つ。反田さんはワルシャワのショパン国立音楽大学に在籍中。国内ではこれまでにない新しい形でのクラシック音楽の普及に力を入れている。小林さんはフィラデルフィアのカーティス音楽院に在籍。前回のコンクールにも出場し、前回もファイナリストとして残った。ショパンコンクールの翌週の10月28日、こちらもクラシック音楽の世界では重要なコンクールの一つであるジュネーブ国際音楽コンクールのチェロ部門において、上野通明さん(25)が優勝した。チェロ部門における日本人優勝は初めて。上野さんはパラグアイに生まれ、スペインで幼少期を過ごし5歳よりチェロを始めた。その後多くの国際コンクールで活躍。

## 令和4年度文化庁概算要求

令和4年度文化庁概算要求の内容が発表された。全体の概算要求額は本年度の予算と比較して236億円の増額(22.0%増)の1,311億円となっている。ちなみに昨年度、令和3年度の文化庁概算要求はその前年度に比べて520億円の増額(48.8%増)であったのと比べると少なめの要求になっている。ただし令和2年度の要求時にあったのは、その後補正予算に組み込まれることとなるコロナ対応関係の予算が計上されていた部分が約520億となっていたためである。通常予算だけに着目すれば、その前年の令和2年度並みと言える。その点で比較すれば、令和4年度の概算要求ではコロナ対応関係は事項要求(その後令和3年度の補正予算となった)として金額的には含まれていないので、増額分についていえば通常年度の予算を増やすことを目的としている。

オーケストラにとって重要な助成項目については以下のようにになっている。

- (1)「舞台芸術創造活動活性化事業」(旧「トップレベルの舞台芸術創造事業」)は3,338(百万円)と今年度の予算額と同額。オーケストラ活動を続けていく上で増額を常に望んでいる項目である。一方で日本芸術文化振興会の助成事業の仕組みの変化、全体予算の減額の可能性がある中で、「舞台芸術創造活動活性化事業」への申請団体の増加は予想され、一層の厳しい状況となることは予想される。
- (2)「文化芸術による子供育成推進事業」は組み立てが変わり、7,996(百万円)

の新規事業扱いとなっている。今年までは「文化芸術による子供育成総合事業」として、巡回公演そのものの公演回数は1,550公演、合同開催事業(巡回公演事業のうち、山間、へき地、離島など、鑑賞機会に恵まれない地域に存する小中学校での合同の実演芸術公演)が490公演と合計で2,040公演であったのに対し、来年度の要求は合計で2,500公演になっている。公演回数が増えることは、義務教育の間に多くのすぐれた芸術文化活動を子供が触れる機会増加の意味においては素晴らしいことではあるが、一方で小規模での開催が増えてきているようにも感じ、この点は注視するとともに、合同でのホールにおける開催など、積極的に提言していきたい。

- (3)「戦略的芸術文化創造推進事業」は今年度予算と同額の585百万円となっている。この事業も長い間継続しているが年々予算が縮小してきている。今年度は日本フィルハーモニー交響楽団が「被災地に音楽を」東北の夢プロジェクト2021>で採択されている。
- (4)「障害者等による文化芸術活動推進事業」は今年度の予算376(百万円)に比べ100(百万円)増の476(百万円)になっている。障害者等による文化芸術の鑑賞機会の拡大、発表機会の確保などについて先導的・試行的な取り組みを支援するもの。今年度は日本センチュリー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団が採択を受けている。

# コンサート津々浦々

加盟オーケストラの2021年11月時点での情報です。  
今後の状況により変更を余儀なくされる場合もございますので、  
コンサート実施の最新情報はそれぞれのオーケストラのホームページ等  
ご確認くださいませようお願い申し上げます。



■ 正会員 ■ 準会員

## 札幌交響楽団

問合せ 011-520-1771

### 第642回定期演奏会 & 東京公演2022

1月29日(土) 17時 / 30日(日) 13時 [会場: 札幌コンサートホール Kitara]  
2月8日(火) 19時 [会場: サントリーホール (東京)]

[指揮] マティアス・バーメルト (首席指揮者) 【ヴァイオリン】 山根一仁  
【曲目】 伊福部 昭 協奏風狂詩曲 シューマン 交響曲第2番 ほか  
定期演奏会1回券 = SS7,000円 S6,000円 A5,000円 B4,500円 C3,500円  
\* U25割 (1996年以降生まれ) B,C 1500円 当日販売限定スマイル席 2,000円  
東京公演チケット = S6,000円 A5,000円 B4,000円 C3,000円  
\* シルバー券 (65歳以上) S,A各1,000円引き U25割 (25歳以下) C1,500円



### hitaruシリーズ新・定期演奏会第8回

2月17日(木) 19時 [会場: 札幌文化芸術劇場 hitaru]

[指揮] 松本宗利音 (札幌指揮者) 【ホルン】 山田圭祐 (札幌首席奏者)  
【曲目】 モーツァルト ホルン協奏曲第4番 ベートーヴェン 交響曲第3番「英雄」 ほか  
1回券 = 限定プレミアム席 8,000円 S6,000円 A5,000円 B3,500円  
\* U25割 (1996年以降生まれ) A,B 1500円 当日販売限定スマイル席 2,000円  
詳細は、公式ホームページをご覧ください <https://www.sso.or.jp>



## 仙台フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 022-225-3934

### 定期演奏会 会場: 日立システムズホール仙台・コンサートホール

金曜日 各日19時開演  
土曜日 各日15時開演

第351回

1月14日(金) 1月15日(土)

指揮: 角田鋼亮 ハープ: 吉野直子  
パーカー: 弦楽のためのアダージョ  
ヒグドン: ハープ協奏曲  
ラフマニノフ: 交響的舞曲



第352回

2月4日(金) 2月5日(土)

指揮: 飯守泰次郎 ヴァイオリン: 郷古 廉  
ブラームス: ヴァイオリン協奏曲  
ブラームス: 交響曲第3番



第353回

3月18日(金) 3月19日(土)

指揮: 高関 健 ピアノ: 河村尚子  
矢代秋雄: ピアノ協奏曲  
ベルリオーズ: 幻想交響曲



[全席指定] S席: ¥5,100 S席ユース: ¥2,000 A席: ¥4,600 A席ユース: ¥1,500 Z席: ¥2,000 ※ユース: 演奏会当日25歳未満の方が対象

お申込み・お問合せ: 仙台フィルサービス 022-225-3934 <https://www.sendaiphil.jp/>

## 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 03-3766-0876

### 初夢コンサート2022

2022' 1月14日(金)

開演 18:30 開場 18:00

大田区民プラザ大ホール

### 新春の初夢コンサートが復活!

東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

チャリティーコンサート (知的障がい者支援)

指揮: 松岡 究  
ゲスト: マリンバ・水野尊旨久  
地元共演: 東京高等学校吹奏楽部、大田ジュニア・ストリングス

プログラム

アイネ・クライネ・ナットムジーク第1楽章  
春の声、美しき青きドナウ、熊蜂の飛行、  
ハンガリー舞曲第5番 チャールダーシュ

座席 席種 S席指定 4,000円(税込)  
A席自由 3,000円(税込)

お問い合わせ  
ユニフィル事務局  
Tel. 03-3766-0876  
Mail: [info@uniphil.gr.jp](mailto:info@uniphil.gr.jp)  
<http://www.uniphil.gr.jp/ticket.html>

主催: 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団  
共催: 初夢コンサート実行委員会  
協力: 東京自由が丘ロータリークラブ、(株)東京音楽事業センター、他

**定期演奏会** [会場] 山形テルサ [開演] 土曜 19:00 / 日曜 15:00  
[チケット料金] A席:4,800円 B席:4,300円 学生(B席):2,600円 Bペア:7,400円



2022年、山響は  
創立50周年を迎えます！

変わりゆく時代の中で、“Hygge  
(ヒュッゲ)”&“Well-being”な時間を  
常にお届けします。



山響公式 HP



山響  
WEB チケット

**第298回 1月15日(土) / 16日(日)**

指揮：下野竜也 ヴァイオリン：ステラ・チェン  
外山雄三：管弦楽のためのディヴェルティメント  
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品 64  
ドヴォルザーク：交響曲 第 6 番 ニ長調 作品 60



© Naoya Yamaguchi



© Brandon Iwaw

**第299回 2月12日(土) / 13日(日)**

指揮：飯森範親 ピアノ：三浦謙司  
モーツァルト：ピアノ協奏曲 第 27 番 変ロ長調 K.595  
ブルックナー：交響曲 第 4 番 変ホ長調「ロマンティック」  
WAB 104 (ハース版)



©山岸伴



© Jeremy Knowles

(お問合せ・お申し込み) 山響チケットサービス TEL: 023-616-6607 (月～金 ※祝日を除く 10:00～17:00)

**2021-22 定期演奏会 後期シーズン** 群馬交響楽団  
Gunma Symphony Orchestra

定期演奏会チケット 各回共通 1回券(全席指定)  
SS席:6,500円 S席:5,500円 A席:5,000円 B席:4,000円 C席:3,000円

**第574回 2022年1月22日(土) 16:00 高崎芸術劇場 大劇場**  
指揮/広上淳一  
ブルックナー/交響曲 第 8 番 ハ短調 WAB108 (ハース版)

**第575回 2022年2月27日(日) 16:00 高崎芸術劇場 大劇場**  
指揮/クリスティアン・アルミンク ソプラノ/天羽明恵\* メゾソプラノ/小山由美\*\*  
マラー/子供の不思議な角笛 から\*\*  
・ラインの伝説 ・いたずらな子どもをしつけるために  
・誰がこの歌を作ったのだろう ・この世の生活 ・原歌  
R. シュトラウス/《ぼらの騎士》組曲 作品 59, TrV 227  
ワーグナー/ジークフリート牧歌  
R. シュトラウス/4つの最後の歌 TrV 296\*

**第576回 2022年3月19日(土) 16:00 高崎芸術劇場 大劇場**  
指揮/小林研一郎 チェロ/宮田大\*  
チャイコフスキー/ロココの主題による変奏曲 イ長調 作品 33\*  
チャイコフスキー/交響曲 第 5 番 短調 作品 64

群馬交響楽団 東京公演

2022年3月6日(日)

会場：すみだトリフォニーホール

指揮/ジョシュア・タン  
ヴァイオリン/神尾真由子\*  
ヴォーン・ウィリアムズ/劇音楽《すずめばち》序曲  
ウォルトン/ヴァイオリン協奏曲\*  
エルガー/エンigma変奏曲 作品 36

チケット(全席指定)  
S席:6,000円 A席:5,000円  
B席:4,000円 C席:3,000円



©山本倫彦



群馬交響楽団 HP

各コンサートの詳細・  
チケットについては  
群馬HPをご覧ください。



© Makoto Kanaya

各コンサートの詳細・チケットについては群馬HPをご覧ください。 <http://www.gunkyo.com/> 群馬交響楽団事務局 (平日 10:00 ~ 18:00) 027-322-4944 (チケット専用電話)

**2021-22シーズン 定期公演** Winter (2022年1月・2月)

特別公演

**N響「新春」**

1/31(月) 19:00  
東京オペラシティ

指揮：高関 健  
ヴァイオリン：白井 圭  
リムスキー・コルサコフ/スペイン奇想曲  
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲  
ムソルグスキー(ラヴェル編)/組曲「展覧会の絵」

www.nhkso.or.jp

Follow us on



今後の状況によっては、出演者や曲目等が変更になる場合や、公演が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。



© Claudio Abbado



© Marco Bergsma



© Kirill Karabits

**池袋Aプログラム**  
(東京芸術劇場)  
18:00  
14:00

**第1948回**  
1/15(土), 16(日)  
指揮：原田慶太楼  
ピアノ：反田恭平\*  
パデレフスキ/ポーランド幻想曲\*  
ストラヴィンスキー/バレエ音楽「火の鳥」ほか

**第1951回**  
2/5(土), 6(日)  
指揮：パーヴォ・ヤルヴィ  
ピアノ：イゴール・レヴィット  
ブラームス/ピアノ協奏曲 第 2 番  
シューマン/交響曲 第 2 番

**Bプログラム**  
(サントリーホール)  
19:00

**第1950回**  
1/26(水), 27(木)  
指揮：トゥガン・ソヒエフ  
ピアノ：ハオチェン・チャン  
プロコフィエフ/ピアノ協奏曲 第 3 番  
プロコフィエフ/交響曲 第 5 番 ほか

**第1953回**  
2/16(水), 17(木)  
指揮：パーヴォ・ヤルヴィ  
ヴァイオリン：ヒラリー・ハーン  
パーヴォ・ヴァイオリン協奏曲  
エルガー/変奏曲「謎」ほか

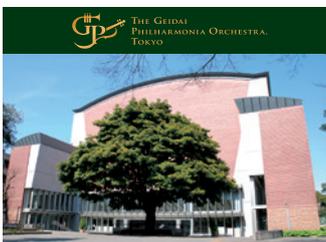
**池袋Cプログラム**  
(東京芸術劇場)  
19:30  
14:00

**第1949回**  
1/21(金), 22(土)  
指揮：トゥガン・ソヒエフ  
ヴァイオリン：ワディム・グルズマン  
ブルッフ/ヴァイオリン協奏曲 第 1 番  
ブラームス/交響曲 第 3 番

**第1952回**  
2/11(金・祝), 12(土)  
指揮：パーヴォ・ヤルヴィ  
R. シュトラウス/  
バレエ音楽「ヨゼフの伝説」から交響的断章  
アルプス交響曲

リニューアル!池袋C

●全公演「休憩なし&60分~80分程度」に  
●1日目(金曜夜)の開演を19:30に繰り下げ  
●料金よりリズナブルに  
●開演前の室内楽の開催



2021年度 モーニング・コンサート

第12回	第13回
2022年2月17日(木)	2022年3月17日(木)
山下一史(指揮)	山下一史(指揮)
坂本樹生(声楽)	守屋紗弥(トランペット)
五条玲緒(ピアノ)	城野聖良(ヴァイオリン)

東京藝術大学音楽堂 11:00開演 全席指定 1,000円

2022年度 開催演奏会のご案内

4月	定期演奏会	11月	合唱定期演奏会
5月	新卒業生紹介演奏会	12月	メサイア公演
6月	創造の杜2022		台東第九公演
10月	オペラ定期公演 定期演奏会		モーニング・コンサート(年13回)

\*詳細は下記HPでご案内しております。

2021/2022年シーズン定期演奏会、チケット好評販売中!

https://www.njp.or.jp

すみだクラシックへの扉 第4回

2022/1/21(金)・22(土) 両日 14:00

すみだトリフォニーホール

指揮 = 佐渡 裕 ピアノ = ニュウニューウ

ベートーヴェン/

ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 op. 73「皇帝」

リムスキー=ニコルサコフ/シェエラザード op. 35



© Peter Rigaud



© Chris Lee

第639回定期演奏会

トリフォニーホール・シリーズ

2022/1/27(木) 19:00 すみだトリフォニーホール

サントリーホール・シリーズ

2022/1/28(金) 19:00 サントリーホール

指揮 = ジャン=クリストフ・スピノジ ヴァイオリン = ステラ・チェン

モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲第3番 卜長調 K. 216

モーツァルト/交響曲第41番 ハ長調「ジュピター」K. 551

バーンスタイン/ウエストサイド・ストーリー「シンフォニック・ダンス」



© Brandon Ilaw

第640回定期演奏会

トリフォニーホール・シリーズ

2022/2/19(土) 14:00

すみだトリフォニーホール

サントリーホール・シリーズ

2022/2/21(月) 19:00 サントリーホール

指揮 = 小泉和裕

シューマン/交響曲第1番 変ロ長調 op. 38「春」

フランク/交響曲 二短調 M. 48



© Ivan Maly

東京交響楽団

問合せ 044-520-1511

第697回 定期演奏会

2022年1月30日(日) 14:00 サントリーホール

指揮: 秋山和慶

ヴァイオリン: クリストフ・コンツ

ブラームス: ヴァイオリン協奏曲 二長調 op. 77

ブラームス: 交響曲第1番 短調 op. 68

S席¥7,000 A席¥6,000 B席¥5,000 C席¥4,000 P席¥2,500



指揮  
秋山和慶



ヴァイオリン  
クリストフ・コンツ

第698回 定期演奏会

2022年3月12日(土) 18:00 サントリーホール

指揮: 沼尻竜典 ソプラノ: 中村恵理 合唱: 新国立劇場合唱団 合唱指揮: 富平恭平

ラヴェル: 組曲「マ・メール・ロワ」

ラヴェル: 歌曲「シェエラザード」

ラヴェル: 「ダフニスとクロエ」(全曲)

S席¥7,000 A席¥6,000 B席¥5,000 C席¥4,000



指揮  
沼尻竜典



ソプラノ  
中村恵理

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

問合せ 03-5624-4002

ウィンターシーズン シーズンセット券・1公演券発売中!

定期演奏会 会場: 東京オペラシティ コンサートホール 各日14時開演

ティアラこうとう定期演奏会

会場: ティアラこうとう 大ホール 各日15時開演

第348回

2022年1月15日(土)

【指揮】高関 健(常任指揮者)

【ヴァイオリン】戸澤采紀

ブリテン: 歌劇「ピーター・グライムズ」

より4つの海の間奏曲

ラロ: スペイン交響曲 二短調 作品 21

メンデルスゾーン: 交響曲第3番 短調 作品 56「スコットランド」



© SmileStyleStudio

S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000 C席¥3,000(座席指定・税込) U20¥1,000(座席指定不可・税込)

U30¥2,000 プラチナS席¥4,500 プラチナA席¥3,500(60歳以上・税込)

第349回

2022年2月19日(土)

【指揮】藤岡幸夫(首席客演指揮者)

【チェロ】宮田 大【ソプラノ】半田美和子

ティリアス(フェンビー編): 2つの水彩画

吉松隆: チェロ協奏曲「ケンタウルス・

ユニット」作品 91

ヴォーン・ウィリアムズ:

交響曲第3番「田園交響曲」



© 青柳聡

第350回

2022年3月26日(土)

【指揮】高関 健(常任指揮者)

マーラー: 交響曲第9番 二長調



© 大塚道治

第67回

2022年1月29日(土)

【指揮】藤岡幸夫(首席客演指揮者)

【ピアノ】田部京子

シューベルト(吉松隆編):

シューベルト@ピアノ協奏曲(世界初演)

シベリウス:

交響曲第1番 短調 作品 39



© Aina Mito

S席¥3,500 A席¥3,000 B席¥2,500(座席指定・税込)

U20¥1,000 U30¥1,500(座席指定不可・税込)

第68回

2022年3月5日(土)

【指揮】高関 健(常任指揮者)

【チェロ】北村 陽

ドヴォルザーク:

チェロ協奏曲 短調 作品 104

ブラームス:

交響曲第1番 短調 作品 68



© Yukihiro

千葉交響楽団

問合せ 043-222-4231

ニューイヤーコンサート2022「歓びのウィーン」

2022年1月8日(土) 14時開演 千葉県文化会館大ホール



チレア/歌劇「アドリアーナ・ルクヴルール」より「私は卑しい芸術の下僕」

J.シュトラウスII/喜歌劇「こうもり」よりチャルダルーシュ「ふるさとの調べよ」

ジーツィンスキー/ウィーンわが夢の街 ほか

指揮とお話: 山下一史(音楽監督) / ソプラノ: 腰越満美

【入場料・全席指定】S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円



指揮とお話  
山下一史



ソプラノ  
腰越満美

第943回定期演奏会

Cシリーズ

2022年2月23日(水・祝)

14:00開演

東京芸術劇場コンサートホール

指揮/大野和士

フルート/柳原佑介(都響首席奏者)

ドビュッシー:舞踊詩《遊戯》

ニールセン:フルート協奏曲

ラヴェル:高雅で感傷的なワルツ

R.シュトラウス:歌劇『ばらの騎士』組曲

第944回定期演奏会

Aシリーズ

2022年2月28日(月)

19:00開演

東京文化会館

指揮/大野和士

ピアノ/ポール・ルイス

ベートーヴェン:

ピアノ協奏曲第4番 ト長調 op.58

ショスタコーヴィチ:

交響曲第10番 ホ短調 op.93



指揮  
大野和士

S席 ¥7,500 A席 ¥6,500

B席 ¥5,500 C席 ¥4,500

Ex席 ¥3,200

シルバーエイジ(65歳以上)

S席~C席2割引

U-25(25歳以下) S席~C席5割引

お問合せ 都響ガイド 0570-056-057(平日10:00~18:00) <https://www.tmsu.or.jp/>

東京ニューシティ管弦楽団

定期演奏会 会場:東京芸術劇場コンサートホール

全席指定席

SS席(10,000円) S席(6,500円)

A席(5,000円) B席(4,000円) C席(3,000円)

第145回 2022年1月23日(日)14時開演(13時開場)

指揮:曾我大介 ヴァイオリン:吉田南

コンスタンティン・シルヴェストゥリ/

トランシルヴァニアのルーマニア民俗舞曲

ドヴォルザーク/ヴァイオリン協奏曲 イ短調 作品53

エネスク/第1組曲 作品9より第1楽章「ユニゾンの前奏曲」

ルーマニア狂詩曲 第2番 二長調 作品11-2

ルーマニア狂詩曲 第1番 イ長調 作品11-1



2022年4月1日より東京ニューシティ管弦楽団は

「Pacific Philharmonia Tokyo」

(パシフィック フィルハーモニア東京)に新しく生まれ変わります。

チケットオフィス 03-5726-9008(平日10:00~18:00) WEBチケット<http://www.tnco.or.jp>

第146回 2022年3月5日(土)

14時開演(13時開場)

指揮:秋山和慶 ヴァイオリン:竹澤恭子

リスト/交響詩「レ・プレリュード」

ブラームス/ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品77

バルトーク/管弦楽のための協奏曲



東京フィルハーモニー交響楽団

2022シーズン定期演奏会

チケット料金 SS席¥15,000 S席¥10,000 A席¥8,500 B席¥7,000 C席¥5,500

東京フィルチケットサービス 03-5353-9522(平日10~18時・土日祝休) 東京フィルWEBチケットサービス [www.tpo.or.jp/](http://www.tpo.or.jp/)

1月

21日(金) 19:00開演 サントリーホール

23日(日) 15:00開演 Bunkamuraオーチャードホール

25日(火) 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール

アルト:中島都子

女声合唱:新国立劇場合唱団 児童合唱:東京少年少女合唱隊

マーラー/交響曲第3番



指揮  
チョン・ミョンファン  
(名誉音楽監督)

2月

24日(木) 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール

25日(金) 19:00開演 サントリーホール

27日(日) 15:00開演 Bunkamuraオーチャードホール

エルガー/序曲「南国にて」

クセナキス/ピアノ協奏曲第3番『ケクロプス』\*

(1986、日本初演)(クセナキス生誕100年)

ショスタコーヴィチ/交響曲第1番



指揮  
井上道義



ピアノ  
大井浩明\*

3月

10日(木) 19:00開演 サントリーホール

11日(金) 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール

13日(日) 15:00開演 Bunkamuraオーチャードホール

スメタナ/連作交響詩『わが祖国』(全曲)



指揮  
ミハイル・プレトニョフ  
(特別客演指揮者)

富士山静岡交響楽団(旧:静岡交響楽団)

第108回定期演奏会 ~ハイドンシリーズvol.7~

1月29日(土) 14:00

じずぎんホールユーフォニア

【指揮】原田幸一郎 【チェロ】鳥羽咲音

ハイドン/

交響曲第83番「雌鶏」

完売

交響曲第85番「王妃」

チェロ協奏曲第1番

交響曲第92番「オックスフォード」



© 堀田力哉

第109回定期演奏会

2月19日(土) 14:00

静岡市清水文化会館マリナート

2月20日(日) 14:00

アクトシティ浜松

【指揮】高関 健 【ピアノ】小菅 優

モーツァルト/

ピアノ協奏曲第9番「ジュノーム」

ブルックナー/交響曲第4番「ロマンティック」



© Marco Borggreve

オーケストラの日2022 名曲コンサート

3月26日(土) 14:00

静岡市清水文化会館マリナート

【指揮】横山 泰 【ヴァイオリン】大森潤子

【ヴィオラ】川口さくら

モーツァルト/交響曲第32番

ヴァイオリンとヴィオラのための

協奏交響曲

ブラームス/交響曲第1番



© 半鐘平

【各公演 前売券】 全席指定/A席 4,500円 B席 3,500円 B席学生 1,500円 ※当日 500円増(B席学生は同額)

東京都交響楽団 / 東京ニューシティ管弦楽団 / 東京フィルハーモニー交響楽団 / 富士山静岡交響楽団

心踊る!極上のひと時をあなたへ

394回名曲コンサート

2022年1月23日(日) 14:00開演

サントリーホール

指揮: 下野竜也 フルート: 高木綾子

New Year Concert 2022

スッペ:《ウィーンの朝・昼・晩》序曲  
モーツァルト:フルート協奏曲第2番 二長調 K.314  
ヨハン・シュトラウス2世:喜歌劇《こもり》序曲  
ヨーゼフ・シュトラウス:ワルツ《天体の音楽》op.235  
ヨハン・シュトラウス2世:エジプト行進曲 op.335  
ブラームス:ハンガリー舞曲第5番 短調  
ヨハン・シュトラウス2世:ワルツ《美しく青きドナウ》op.314

好評発売中 S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥5,000 C ¥4,000  
P ¥3,000 Gs ¥4,000 Ys ¥1,500



指揮 下野竜也



フルート 高木綾子

自然とロマンが交差する、ドイツ本流への旅

第235回 芸劇シリーズ

2022年1月29日(土) 14:00開演 東京芸術劇場

指揮: 沼尻竜典 ヴァイオリン: 渡辺玲子  
ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲第1番 短調 op.26  
ブラームス: 交響曲第1番 短調 op.68

好評発売中 S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥5,000  
C ¥4,000 Gs ¥4,000 Ys ¥1,500



指揮 沼尻竜典



ヴァイオリン 渡辺玲子

【お問合せ・お申込み】日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911 (平日11時~17時) FAX:03-5378-6161 (24時間) 日本フィルチケット [www.japanphil.or.jp](http://www.japanphil.or.jp)

読売日本交響楽団

問合せ 0570-00-4390

世界が認めた音楽性で日本の誇るエース山田和樹が、ドヴォルザーク「新世界」や諸井三郎の傑作を振る!

ゲルギエフやロトラと共演する気鋭モローが  
ロック調のグルダ作品で熱いセッションを繰り広げる

欧米で注目を浴びるオランダの名花ラムスマが、  
目まぐるしく展開するファン・デル・アーの難曲を日本初演

第650回名曲シリーズ 2月上旬発売予定

3月3日(木) 19:00開演 サントリーホール

【指揮】 山田和樹 (首席客演指揮者)

【チェロ】 エドガー・モロー

コルンゴルト: シュトラウシアーナ

グルダ: チェロ協奏曲

ドヴォルザーク: 交響曲第9番「新世界から」

【チケット料金】  
S ¥7,600 A ¥6,600 B ¥5,600 C ¥4,100

第616回定期演奏会 2月上旬発売予定

3月8日(火) 19:00開演 サントリーホール

【指揮】 山田和樹 (首席客演指揮者)

【ヴァイオリン】 シモーネ・ラムスマ

ドビュッシー: 牧神の午後への前奏曲

ファン・デル・アー: ヴァイオリン協奏曲 (日本初演)

諸井三郎: 交響曲第3番

【チケット料金】  
S ¥7,600 A ¥6,600 B ¥5,600 C ¥4,100



指揮 山田和樹



チェロ エドガー・モロー



ヴァイオリン シモーネ・ラムスマ

【お問合せ・お申し込み】読売チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時) <https://yomikyo.or.jp/>

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 045-226-5107

神奈川フィル特別演奏会 Tokyo for Future

2022年  
2月22日(火) 19時開演  
東京オペラシティ  
コンサートホール

指揮: 川瀬賢太郎

ソプラノ: 半田美和子

リゲティ/

ミステリー・オブ・ザ・マカブル

リゲティ/ルーマニア協奏曲

マーラー/交響曲第5番

【チケット料金】  
S6,000円 A4,500円 B3,000円



© Yoshinori Kurosawa

音楽堂シリーズ第22回

2022年  
2月26日(土) 15時開演  
神奈川県立音楽堂

指揮・ピアノ: 阪田知樹

モーツァルト/コンサート・ロンド

リスト/システィーナ礼拝堂にて

J.S. バッハ(モーツァルト編曲)/

平均律クラヴィーアより5つのフーガ

モーツァルト/ピアノ協奏曲第17番

【チケット料金】  
S4,500円 A3,500円



© HIDEKI NAMAI

<https://www.kanaphil.or.jp>

中部フィルハーモニー交響楽団

問合せ 0568-43-4333

第79回定期演奏会 KOMAKI シリーズ3  
“飯森のチャイコフスキー生誕180周年記念3大交響曲ツィクルス3”

2022年1月30日(日)  
開演15:00 小牧市市民会館

指揮: 飯森範親 チェロ: 新倉 瞳

チャイコフスキー:

オペラ「エフゲニー・オネーギン」より「ポロネーズ」

ロココ風の主題による変奏曲 長調 作品 33

交響曲第6番 短調 作品 74「悲愴」



© 山岸伸

小牧特別演奏会  
“世界を巡る中部フィルプロムナードコンサート”

2022年3月26日(土)  
開演15:00 小牧市市民会館

指揮: 高井優希

J.ウィリアムズ: 映画「スター・ウォーズ」より「メインタイトル」

ビゼー: 「カルメン」組曲より「前奏曲」「ジプシーの踊り」

ドヴォルザーク: スラブ舞曲第1番

チャイコフスキー: 大序曲「1812年」 他



チケットお取扱い・お問合せ 中部フィルハーモニー交響楽団 Tel 0568-43-4333 <https://chubu-phil.com>

定期演奏会 会場:三井住友海上しらかわホール

第187回 2022年1月28日(金)17:45開場/18:45開演

指揮/小松長生(当団名誉指揮者)  
 スメタナ: 歌劇「売られた花嫁」序曲  
 ドヴォルザーク: チェコ組曲 Op.39/B.93  
 ドヴォルザーク: 交響曲第9番 短調「新世界より」 Op.95/B.178



©五味明彦

第188回 2022年3月17日(木)17:45開場/18:45開演

指揮/角田鋼亮(当団常任指揮者)  
 萩森英明: Novelette for Violette On a Theme by Scarlatti  
 ラフマニノフ: コレルリの主題による変奏曲ニ短調 Op.42 (編曲: ダンプラヴェヌー)  
 エルガー: 創作主題による変奏曲「エニゲマ」 Op.36  
**[指定席] A席 4,500円 B席 3,500円 C席 2,500円**  
**[学生席] 1,000円** (座席指定不可・指定の場合は一般価格の半額。)



コンサート形式による  
歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」 K.588

2022年3月11日(金)18:30開演  
 刈谷市総合文化センター大ホール

指揮/角田鋼亮(当団常任指揮者)  
 ナレーション/長谷川初範  
 フィオルディリージ/  
 針生美智子  
 ドラベツラ/小林由佳  
 グリエルモ/宮本益光  
 フェランド/望月哲也  
 デスピーナ/鶴木絵里  
 ドン・アルフォンソ/黒田博



[主催お問い合わせ] セントラル愛知交響楽団 ☎052-581-3851 <http://www.caso.jp/>

名古屋フィルハーモニー交響楽団

定期演奏会 会場:愛知県芸術劇場コンサートホール 開演:[金]18:45 [土]16:00 名フィル

2022年1月21日(金)/22日(土)

第497回 <小泉和裕のチャイコフスキー>

小泉和裕(指揮/名フィル音楽監督)  
 アンドレイ・コロベニコフ(ピアノ)\*  
 ▼モーツァルト: 交響曲第31番「パリ」  
 ▼ラフマニノフ: バガニーニの主題による狂詩曲\*  
 ▼チャイコフスキー: 交響曲第1番「冬の日の幻想」



© Irena Zande

2022年2月18日(金)/19日(土)

第498回 <バターソンのフレンチ&ロシアン>

ジェフリー・バターソン(指揮) 阪田知樹(ピアノ)\*  
 ▼L. プーランジュ: 春の朝に  
 ▼坂田知樹(コンポーザー・イン・レジデンス): ピアノ小協奏曲\*  
 [委嘱新作・世界初演]  
 ▼ラヴェル: 左手のためのピアノ協奏曲\*  
 ▼ラフマニノフ: 交響曲第3番



© MIDEKI NAMI

2022年3月11日(金)/12日(土)

第499回 <井上道義のショスタコーヴィチ#8>

井上道義(指揮)  
 佐藤晴真(チェロ)\*  
 ▼ハイドン: チェロ協奏曲第2番\*  
 ▼ショスタコーヴィチ: 交響曲第8番



©高木ありさ

© Tomoko Nishida

[全席指定] S席: ¥6,400 A席: ¥5,200 B席: ¥4,200 C席: ¥3,200 D席: ¥2,200 ※各公演 25歳以下・65歳以上に割引あり  
 お問い合わせ: 名フィル・チケットガイド Tel. 052-339-5666 (9:00~17:30/土日祝休) [www.nagoya-phil.or.jp](http://www.nagoya-phil.or.jp)

オーケストラ・アンサンブル金沢

第453回 定期公演 フィルハーモニー・シリーズ

2022年3月17日(木) 19:00 開演 石川県立音楽堂コンサートホール

SS席6,000円 S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円 スターライト1,000円  
 ※25歳以下の方、当日券50%オフ(前日より予約可/要証明書類)

第38回東京定期公演

2022年3月23日(水) 19:00 開演 サントリーホール 大ホール

S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席2,000円  
 ※25歳以下の方、当日券50%オフ(前日より予約可/要証明書類)

公演内容(共通)

指揮: 川瀬賢太郎 ピアノ: 亀井聖矢  
 杉山洋一/ 揺籃歌(自画像II) —オーケストラのための(2021年度OEK委嘱作品)  
 ショパン/ピアノ協奏曲 第1番 短調  
 メンデルスゾーン/交響曲 第3番 短調「スコットランド」



© Yoshihiko Kurosawa



<https://www.oek.jp>

京都フィルハーモニー室内合奏団

2022年1月15日(土) 開演14:00

第240回定期公演A  
 ニューイヤーコンサート

京都コンサートホール 小ホール

指揮: 柳澤寿男  
 ムソルグスキー(ジュリアン・ユー編)/  
 展覧会の絵  
 レハール/ワルツ「金と銀」  
 J. シュトラウスII/  
 ワルツ「南国のバラ」ほか



2022年2月26日(土) 開演14:00

第230回定期公演A  
 ニューイヤーコンサート2021

※2021年1月9日の延期分の公演です

京都府民ホール・アルティ

指揮: 中井章徳  
 ソプラノ: 日紫喜恵美  
 ヴィヴァルディ/ヴァイオリン協奏曲集「四季」より<冬>ほか



チケット代<入場料(前売:税込)> ■定期公演A S席4,000円、A席3,000円、B席2,000円、ユース席(25歳以下)1,000円  
 ■定期公演B(自由席) 一般2,000円、ユース(25歳以下)1,000円 全ての公演:当日各500円増し

2022年2月15日(火)  
 開演18:30

第241回定期公演B  
 「Jazz meets 室内楽」

ウイングス京都  
 カブーステン/  
 11人の奏者のための協奏曲ほか



共に響き合う、京響

City of Kyoto Symphony Orchestra 会場:京都コンサートホール・大ホール

発売中!

第663回定期演奏会

井上道義が追求する二人の作曲家の「陰」と「陽」  
2019年チャイコフスキー・コンクールの覇者ファン・デル・エルガー  
2022年1/22(土)、23(日)14:30開演

指揮:井上道義  
独奏:ズラトミール・ファン(チェロ)  
シベリウス:交響曲第7番ハ長調 作品105  
エルガー:チェロ協奏曲ホ短調 作品85  
エルガー:序曲「南国で」作品50 ほか



2022年1/15(土)から一般発売!

第664回定期演奏会

どこまでも熱く!原田慶太様のロマンティック・プログラム  
華やかなピアノスズム!三浦謙司のラフマニノフ  
2022年2/18(金)19:00開演

指揮:原田慶太様  
独奏:三浦謙司(ピアノ)  
ヴェルディ:歌劇「運命の力」序曲  
ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲 作品43  
チャイコフスキー:交響曲第5番ホ短調 作品64



2022年2/12(土)から一般発売!

第665回定期演奏会

広上淳一と京響の渾身のマーラー第3番!  
常任指揮者14年間の集大成!  
2022年3/12(土)、13(日)14:30開演

指揮:広上淳一(常任指揮者兼芸術顧問)  
独唱:藤村実穂子(メゾ・ソプラノ)  
合唱:京響コーラス(女声)  
京都市少年合唱団  
マーラー:交響曲第3番ニ短調



■入場料  
S:5,500円  
A:5,000円  
B:4,000円  
C:3,000円  
P:2,000円(舞台後方席)  
※「第665回定期演奏会」ではP席の販売はありません。

チケットご予約  
京都コンサートホール・  
チケットカウンター  
TEL(075)711-3231  
24時間オンライン  
チケット購入  
https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/  
京都市交響楽団  
オフィシャルホームページ



大阪交響楽団

問合せ 072-226-5522

音楽のあるひととき

大阪交響楽団メンバーが出演する  
気軽に楽しめる1時間(ひととき)

すべてフェニーチェ堺の違うステージで開催予定  
毎回、異なる音楽と演出をお楽しみください

Vol.6 音楽のおもちゃ箱  
ちょっと気軽なクラシックコンサート

2022年1月12日(水)14:00開演(13:15開場)

フェニーチェ堺 | 大ホール2階ホワイエ

出演:小谷麻理子(オーボエ)、北口裕子(ピアノ)、  
坂口雅秀(ヴィオラ)、荒木雅美(チェロ)、  
渡戸由布子(コントラバス)

アルビノーニ:オーボエ協奏曲  
ドヴォルザーク:「新世界」より「家路」  
シャーマン兄弟:ディズニー小さな世界  
モリコーネ:ガブリエルのオーボエ ほか

各1,000円(税込) ※未就学児入場不可  
※曲目変更の場合があります。

主催:フェニーチェ堺、公益社団法人 大阪交響楽団

Vol.7 スtrings・サミット  
8人の弦楽器奏者が魅せる音の対話

2022年3月17日(木)14:00開演(13:15開場)

フェニーチェ堺 | 大スタジオ

出演:水村良子、吉岡克典、  
米川さやか、伊藤瑳紀(ヴァイオリン)、  
早田類、南條聖子(ヴィオラ)、  
大谷雄一、金井悠(チェロ)

シヨスタコーヴィチ:弦楽四重奏 第7番  
メンデルスゾーン:弦楽八重奏曲

チケット・問い合わせ

大阪交響楽団チケットセンター

☎072-226-5522 (平日10:00~17:00)

大阪フィルハーモニー交響楽団

問合せ 06-6656-4890

第555回 定期演奏会

2022年2月10日(木) 午後7時開演

2022年2月11日(金・祝) 午後3時開演

フェスティバルホール

指揮:尾高忠明

ブルックナー/交響曲 第5番(ノヴァーク版)

【料金(税込)】

A 席:6,300円

B 席:5,300円

C 席:4,200円

BOX席:7,400円

学生席:1,000円



お問合せ:大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

第54回 東京定期演奏会

2022年2月14日(月) 午後7時開演

サントリーホール

指揮:尾高忠明

ブルックナー/交響曲 第5番(ノヴァーク版)

【料金(税込)】

S 席:6,600円

A 席:5,500円

B 席:4,400円

C 席:3,300円



お問合せ:カジモトイープラス 050-3185-6728

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

問合せ 06-6336-2001

日本オペラプロジェクト2022「夕鶴」(全1幕/日本語上演・字幕付)

2022年3月20日(日)21日(月・祝) 両日開演14:00

会場:兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール

【指揮】栗辻 聡 【演出】岩田達宗

【出演】つう:石橋栄実(3/20)、老田裕子(3/21) 運ず:晴 雅彦(両日)  
与ひょう:清水徹太郎(3/20)、中川正崇(3/21) 惣ど:松森 治(両日) ほか

入場料:A 席 8,000円、B 席 6,000円(全席指定・税込)



主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター ご予約・お問い合わせ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00-17:00 月曜休み\*祝日の場合翌日)

# 第326回定期演奏会 会場：ザ・シンフォニーホール

2022 3/25 (金) 19:00 開演 (18:00 開場)

衝撃の一挙上演！秘曲中の秘曲、ブルックナー《00》&《0》

指揮：飯守 泰次郎 (関西フィル桂冠名誉指揮者)

～飯守のブルックナー・ツィクルス第10回(最終回)～

ブルックナー：交響曲第00番 へ短調

ブルックナー：交響曲第0番 ニ短調

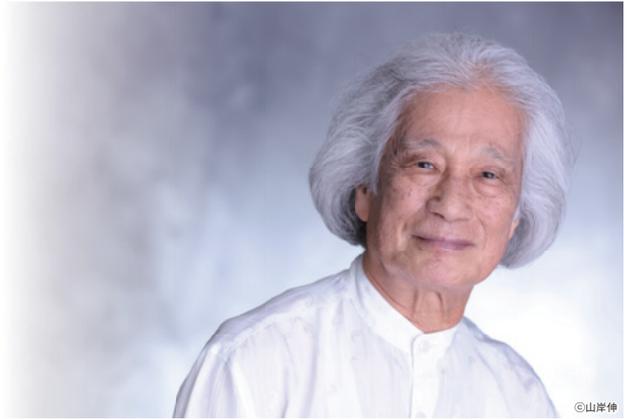
※出演者、曲目、曲順など、内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

6,000円(S) 4,500円(A) 3,000円(B)

2,000円(C) 1,000円(学生/25歳以下)

※チケット発売日 **調整中**

協賛：株式会社大塚製薬工場 協賛：高砂熱学工業株式会社 特別協賛：ダイキン工業株式会社



©山岸伸

## 日本センチュリー交響楽団

問合せ 06-6848-3311

### 第260回 定期演奏会

2022年1月29日(土)  
14:00開演 13:00開場  
ザ・シンフォニーホール  
【指揮】 ヤーノシュ・コヴァーチュ  
【ピアノ】 ガーボル・ファルカシュ  
リスト：交響詩「プロメテウス」S99  
クレーグ：  
ピアノ協奏曲 イ短調 作品16  
バルトーク：  
管弦楽のための協奏曲 BB123



### 第261回 定期演奏会

2022年2月20日(日)  
14:00開演 13:00開場  
ザ・シンフォニーホール  
【指揮】 飯森範親  
【ヴァイオリン】 三浦文彰  
ブラームス：悲劇的序曲 作品81  
ショスタコヴィチ：  
ヴァイオリン協奏曲 第1番  
イ短調 作品77  
チャイコフスキー：  
交響曲 第4番 へ短調 作品36



### 第262回 定期演奏会

2022年3月4日(金)  
19:00開演 18:00開場  
ザ・シンフォニーホール  
【指揮】 久石 謙  
【ピアノ】 Piano duo Sakamoto  
(坂本 彩・坂本リサ)  
ベルト：フェスティナー・レンテ  
久石 謙：Variation 57～2台の  
ピアノのための協奏曲～  
(管弦楽版 世界初演)  
プロコフィエフ：交響曲 第7番  
嬰ハ短調 作品131



### 第255回 定期演奏会

2022年3月16日(水)(延期公演)  
19:00開演 18:00開場  
ザ・シンフォニーホール  
【指揮】 飯森範親 【マリンバ】 三村奈々恵  
ブリテン：歌劇「ピーター・グライムズ」より  
4つの海の間奏曲 作品33a  
吉松隆：マリンバ協奏曲 作品109  
「バード・リズムクス」  
ヴォーン・ウィリアムズ：「グリーン・スリーヴ  
ス」による幻想曲  
エルガー：エニグマ変奏曲 作品36



### ハイドンマラソンHM.26

2022年3月31日(木)  
19:00開演/18:00開場  
ザ・シンフォニーホール  
【指揮】 飯森範親  
ハイドン：交響曲 第86番  
ニ長調 Hob. I :86  
ハイドン：交響曲 第87番  
イ長調 Hob. I :87  
ハイドン：交響曲 第82番  
ハ長調 Hob. I :82「熊」



お問合せ/センチュリーチケットサービス TEL 06-6848-3311(平日10:00~18:00) <https://www.century-orchestra.jp/ticket/>

## 兵庫芸術文化センター管弦楽団

問合せ 0798-68-0203

### 第129回定期演奏会

特別な世界観を持つ二つの作品を、豪華キャストで  
**佐渡 裕 タケミツ&マーラー**  
2022年1月14日(金)・15日(土)・16日(日)  
指揮・芸術監督/佐渡 裕  
アコーディオン/御喜 美江  
語り/白鳥 玉季 ソプラノ/石橋 栄実  
武満 徹：糸図 一若い人たちのための音楽詩—  
マーラー：交響曲 第4番 トラ長調



### 第130回定期演奏会

ヴィオラの次世代スター、リダウトが奏でるバルトーク  
**カンブルラン 展覧会の絵**  
2022年2月11日(金・祝)・12日(土)・13日(日)  
指揮/シルヴァン・カンブルラン  
ヴィオラ/ティモシー・リダウト  
リゲティ：ルーマニア協奏曲  
バルトーク：ヴィオラ協奏曲 Sz.120, BB128  
ムソルグスキー(ラヴェル編)：組曲「展覧会の絵」



### 第131回定期演奏会

北欧の大自然、生命の躍動を感じるひととき  
**インキネン シベリウス&春の祭典**  
2022年3月18日(金)・19日(土)・20日(日)  
指揮/ピエタリ・インキネン  
ヴァイオリン/川久保 陽紀  
シベリウス：交響詩「フィンランディア」op.26  
シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47  
ストラヴィンスキー：春の祭典



会場：兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール 各日15時開演 A4,000円/B3,000円/C2,000円/D1,000円(全席指定/税込)  
【お問合せ先・チケットご予約】 芸術文化センターチケットオフィス TEL 0798-68-0255

## テレマン室内オーケストラ

問合せ 06-6345-1046

### 第284回定期演奏会 テレマンの街ハンブルクから中之島をウィーンに

日程 2022年1月14日(金) 18時30分開演  
会場 大阪市中央公会堂中集会室 料金 ¥5,000(当日共)  
演目 L.v. ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 W.A. モーツァルト：交響曲 第35番ほか  
出演 指揮：延原武春 ヴァイオリン：浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ Classic

### 第285回定期演奏会 鷺見敏リサイタル バッハ「無伴奏チェロ組曲」全曲

日程 2022年1月29日(土) 13時30分開演  
会場 東京文化会館小ホール 料金 ¥4,000(当日共)  
出演 バロックチェロ/ピッコロチェロ：鷺見敏

バッハからベートーヴェンまで  
日本テレマン協会  
since1963



音楽の花束～広響名曲コンサート～〈冬〉

2022年2月6日(日)  
15:00開演(14:00開場)

広島国際会議場  
フェニックスホール

指揮:円光寺雅彦  
チェロ:佐藤晴真



ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 口短調 Op.104  
シベリウス:交響曲第2番 ニ長調 Op.43

S席¥4,300 (ペア¥6,500) A席¥3,300 B席¥2,300 (学生¥1,500)

<http://hirokyo.or.jp/>

第418回定期演奏会

2022年2月20日(日)  
15:00開演(14:00開場)

広島文化学園  
HBGホール

指揮:下野竜也

シューマン:「マンフレッド」序曲 Op.115

メンデルスゾーン:

交響曲第5番 ニ長調 Op.107「宗教改革」

ストラヴィンスキー:バレエ音楽「春の祭典」

S席¥5,300 A席¥4,800 B席¥4,300 (学生¥1,500)



アマービレフィルハーモニー管弦楽団

問合せ 072-697-9888

タケカワユキヒデ(ゴダイゴ)とアマービレフィルが  
茨木で奏でる名曲の数々

2022年 1月28日(金) 19:00開演

茨木市市民文化センター(クリエイトセンター)センターホール

S席:8000円 A席:7000円 B席:5000円

問合せ:アマービレフィルハーモニー管弦楽団事務局 contact@amabile-philharmonic.com 指揮・加藤完二

奈良フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 0743-57-2235

奈良フィル  
ニューイヤーコンサート2022

~ヨハン・シュトラウスⅡの世界~

2022年

1月16日(日)

DMG MORI やまと郡山城ホール  
大ホール  
■開演 15:00 ■開場 14:30

全席指定 一般 前売券:3,000円 当日券:3,500円  
学生 前売券:1,500円 当日券:2,000円 (税込み)



岡山フィルハーモニック管弦楽団

問合せ 086-234-7177

OKAYAMA PHILHARMONIC ORCHESTRA

第71回定期演奏会 2022年3月13日(日)15:00開演 岡山シンフォニーホール 大ホール

指揮/ハンスイェルク・シェンベルガー ハープ/マルギット=アナ・シュース

ラヴェル/道化師の朝の歌  
ボイエルデュー/ハープ協奏曲 ハ長調  
モーツァルト/交響曲 第31番「パリ」K.297  
ラヴェル/ボレロ

S 5,500円 A 4,400円  
B 3,300円 B1-S 1,000円

\*Bコースは19歳以下および25歳以下の学生対象です。

チケットの問合せ:岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL086-234-2010・<http://www.okayama-symphonyhall.or.jp/okaphil/>

瀬戸フィルハーモニー交響楽団

問合せ 087-822-5540



瀬戸フィルハーモニー交響楽団 第36回定期演奏会

2022年2月18日(金) 18:20開場 19:00開演  
サンポートホール高松 大ホール

指揮:三ツ橋敬子 ピアノ:宮崎朋菜

曲目:チャイコフスキー作曲/ピアノ協奏曲第1番変ロ短調op.23  
チャイコフスキー作曲/交響曲第4番ハ短調op.36 他

チケット 全席指定  
S席4,000円  
A席3,500円  
学生(高校生以下)1,500円



## 第401回定期演奏会

2022年2月9日(水)

福岡サンパレス ホテル&amp;ホール

指揮:ヴァレリー・ポリャンスキー

タネーエフ/交響曲第4番 ハ短調 作品12

チャイコフスキー/交響曲第5番 ホ短調 作品64

【チケット料金】

S席:5,300円、A席:4,400円、B席:3,300円、

学生席:1,500円 車椅子席(限定6席) 3,300円

チケットお問い合わせ:九響チケットサービス ☎ 092-823-0101 <http://www.kyukyo.or.jp>

## 長崎OMURA室内合奏団 (NOCE)

問合せ 0957-47-6537

2021~2023 シリーズ 室内合奏団の魅力を探る

## 2022年度 長崎OMURA室内合奏団 定期演奏会



▶ 第18回長崎公演

5月20日(金)19:00開演  
長崎市民会館・文化ホール

▶ 第33回大村公演

5月21日(土)14:00開演  
シーハットおおむら・  
さくらホール

松原勝也(コンサートマスター)

長崎OMURA室内合奏団

ラヴェル/クーブランの墓

バルトーク/弦楽のためのディヴェルティメント

ストラヴィンスキー/プルチネラ組曲

松原 勝也

問い合わせ 認定NPO法人長崎OMURA室内合奏団 TEL:0957-47-6537(平日9時~16時) Email:oce02@omurace.or.jp <http://www.omurace.or.jp>

## 編集後記

▶コロナ禍の中、思いもよらぬことが幾つかありましたが、その中の一つにオーケストラの入退場がありました。多くのオーケストラ・ファンの方々がテレビを通じてもお感じになられたと思います。NHK 交響楽団の入退場です。コロナ禍において外国人の指揮者は厳しい審査を受けて入国の許可を得ています。しかも入国後も厳しい活動制限・制約があり(オーケストラも)、オーケストラは音楽的にも経済的にも苦勞をしています。そのうちの一つが入国した外国人と日本人である演奏者の間に、決められた距離をとらなくてはいけないという制約です。▶N響の場合は、正確にこの点を守るために新たな入退場方法を考案しました。通常時ではオー

ケストラの入場後に、指揮者は万雷の拍手のもと入場し、演奏後は何回かのアンコールの後、退場になります。この方法での、指揮者と演奏者が近づきすぎてしまうリスクを避けるために、コロナ禍の今、入場時はまず管・打楽器が入場、そのあとにまさかの指揮者入場、続いて弦楽器の入場となります。▶先に指揮者が出てくるので、一際大きな拍手になりますが、面白いのは終演時。先にオーケストラが退場して、あとから指揮者が退場します。指揮者一人が(コンサート・マスターも?) ステージに残されるわけです。それで拍手はひときわ大きくなりますし、楽団員が退場している間も指揮者にはこやかな顔を聴衆に向けて、ご挨拶をされます。これが何となく、コンサート全体を盛り上げることになっています。最後にコンサート・

マスターにエスコートをされての退場になれば増々盛り上がります。▶近年、演奏会の入退場時の振る舞いがオーケストラによって異なってきたように思います。全員で聴衆にお辞儀をするオーケストラ、後ろも振り返ってお辞儀をするオーケストラ、代表としてコンサート・マスターがお辞儀をするオーケストラ、演奏後に楽団員同士が挨拶することなど、かつてよりも明るく楽しそうに見えてきています。どの方法が正解だという事はありません。自然にお客様に対してお礼の気持ちが表現できればそれが一番だと思います。表情が乏しいと言われている日本人も、コロナ禍の中で聴衆の皆さんと、演奏する仲間たちと暖かな心の交流が感情を外に表して出来るようになったような気がしました。

(桑原)

## オーケストラの情報

### 東京ニューシティ管弦楽団が 楽団名称の変更

2022年4月より、東京ニューシティ管弦楽団は「パシフィック フィルハーモニア東京〔Pacific Philharmonia Tokyo〕」に名称を変更する。合わせて、4月より現在ミュージック・アドヴァイザーである飯森範親さんが音楽監督に就任する。

## 指揮者の情報

### 大野和士さん東京都交響楽団音楽監督の任期延長、新たにブリュッセル・フィルハーモニックの音楽監督に就任

東京都交響楽団は音楽監督である大野和士さんとの契約を2026年3月まで延長することを発表した。また、大野和士さんはブリュッセル・フィルハーモニック（ベルギー）に2022-23シーズンから音楽監督として就任する。

### 新日本フィルハーモニー交響楽団の音楽監督およびミュージック・アドヴァイザーに佐渡裕さんが就任

新日本フィルハーモニー交響楽団は佐渡裕さんを2023年4月から音楽監督とすることを発表した。任期は4年。それに先立ち、2022年4月から1年間ミュージック・アドヴァイザーとして就任する。佐渡さんは現在、オーストリアのトーンクンストラ管弦楽団の音楽監督、兵庫芸術文化センター管弦楽団の芸術監督を務めている。

### 日本フィルハーモニー交響楽団のフレンド・オブ・JPO(芸術顧問)に広上淳一さん、首席客演指揮者にカーチュン・ウォンさん

日本フィルハーモニー交響楽団は、2021年9月より広上淳一さんを「フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)」にまたカーチュン・ウォンさんを首席客演指揮者(任期2年)に迎えることを発表した。

### 札幌交響楽団が新たな指揮者、コンサートマスター体制

札幌交響楽団は2022年4月からの指揮者、コンサートマスター体制を発表した。これまでのマティアス・バーメルト首席指揮者のもと、新たに正指揮者として川瀬堅太郎さんが加わった。またコンサートマスターとして会田莉凡さんが加わり、田島高宏さんとの二人体制になった。

### 飯森範親さんが山形交響楽団の桂冠指揮者に就任

山形交響楽団の現芸術総監督の飯森範親さんは2022年4月より桂冠指揮者に就任する。

### 大阪交響楽団が新たな指揮者体制を発表

大阪交響楽団は2022年4月からの新たな指揮者体制を発表した。常任指揮者に山下一史さん、ミュージックパートナーに柴田真郁さん、首席客演指揮者に高橋直史さんが就任する。

### 広島交響楽団が音楽総監督下野竜也さんの任期を延長

広島交響楽団は音楽総監督の下野竜也さんとの契約を2024年3月まで延長することを決定した。

### 山田和樹さんがバーミンガム市交響楽団の首席指揮者・アーティストック・アドヴァイザーに就任

山田和樹さんは現在の音楽監督であるミルガ・グラジニーニの退任に伴い2023年4月からバーミンガム市交響楽団の首席指揮者・アーティストック・アドヴァイザーに就任することが発表された。このポストはこれまでにサイモン・ラトル、アンドリス・ネルソンスなどの著名な指揮者が歴任している。

## 事務局などの情報

### 千葉交響楽団の新理事長に田谷徹郎さんが就任

2021年7月より千葉交響楽団の理事長として、志村勇亮さんに代わり新たに田谷徹郎さんが就任した。

### 芸術家会議の新会長に堤剛さんが就任

これまで芸術家会議の会長を務めてきたソプラノ歌手の伊藤京子さんのご逝去に伴い、新しい会長としてチェリストでサントリーホール館長、(公社)日本演奏連盟の理事長など務める堤剛さんが就任した。

## 表彰・受賞の情報

### 尾高忠明さん 旭日小綬章を受章

現在、大阪フィルハーモニー交響楽団の音楽監督である尾高忠明さんが令和3年秋の叙勲において旭日小綬章を受章した。音楽芸術の分野におけるこれまでの功績が評価されたものです。



©Martin Richardson

### 芥川也寸志サントリー作曲賞に桑原ゆうさん

第31回芥川也寸志サントリー作曲賞に桑原ゆうさんの作曲した「タイム・アビス 17人の奏者による2群のアンサンブルのための」が選ばれた。

### 指揮者の曾我大介さんが 令和3年度外務大臣表彰を受章

指揮者・曾我大介さんが、日本とルーマニアとの相互理解の促進での多大な功績が評価され、令和3年度外務大臣表彰を受賞した。

### 令和3年度文化庁長官表彰に杉木峯夫さん、仲道郁代さん、支倉二二男さん

令和3年度の文化庁長官表彰に、東京藝術大学名誉教授、日本演奏連盟の専務理事でトランペット奏者の杉木峯夫さん、桐朋学園大学教授でピアニストの仲道郁代さん、元日本オーケストラ連盟の常務理事・事務局長の支倉二二男さんが選ばれた。文化活動に優れた成果を示し、我が国の文化の振興に貢献された方々の功績をたたえ文化庁長官が表彰するもの。

## 訃報

### 「ドラゴンクエスト」などの作曲家 すぎやまこういちさん

ゲームの「ドラゴンクエスト」シリーズをはじめとして歌謡曲からオーケストラの音楽まで幅広いジャンルの音楽を手がけてきた作曲家のすぎやまこういちさんが9月30日敗血症のため亡くなった。享年90。

## ピアニストの神谷郁代さん

ピアニストの神谷郁代さんが10月6日肺炎のため亡くなった。享年75。毎日音楽コンクール(現日本音楽コンクール)で優勝後、1972年にはエリザベート王妃国際音楽コンクールに6位入賞、多くのオーケストラと共演を重ねてきた。

## 【賛助会員】

### ●法人会員

オリックスグループ  
NPO 音楽は平和を運び  
キッコーマン株式会社  
コクヨ株式会社  
株式会社 資生堂  
公益財団法人日本製鉄文化財団  
株式会社日本旅行  
一般財団法人ヤマハ音楽振興会  
ライオン株式会社  
公益財団法人ローム ミュージック ファン  
デーション

(五十音順)

\*連盟の活動をご理解いただき支援してくださる法人あるいは個人の方へ賛助会員へのご入会をお願いしています。

## 【加盟38団体】

### 〈正会員〉

札幌交響楽団  
仙台フィルハーモニー管弦楽団  
山形交響楽団  
群馬交響楽団  
NHK交響楽団  
新日本フィルハーモニー交響楽団  
東京交響楽団  
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団  
東京都交響楽団  
東京ニューシティ管弦楽団  
東京フィルハーモニー交響楽団  
日本フィルハーモニー交響楽団  
読売日本交響楽団  
神奈川フィルハーモニー管弦楽団  
オーケストラ・アンサンブル金沢  
セントラル愛知交響楽団  
名古屋フィルハーモニー交響楽団  
京都市交響楽団  
大阪交響楽団  
大阪フィルハーモニー交響楽団  
関西フィルハーモニー管弦楽団  
日本センチュリー交響楽団  
兵庫芸術文化センター管弦楽団  
広島交響楽団  
九州交響楽団

### 〈準会員〉

千葉交響楽団  
藝大フィルハーモニア管弦楽団  
東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団  
富士山静岡交響楽団  
中部フィルハーモニー交響楽団  
京都フィルハーモニー室内合奏団  
アマービレフィルハーモニー管弦楽団  
ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団  
テレマン室内オーケストラ  
奈良フィルハーモニー管弦楽団  
岡山フィルハーモニック管弦楽団  
瀬戸フィルハーモニー交響楽団  
長崎 OMURA 室内合奏団



日本オーケストラ連盟ニュース第106号 2021年12月20日発行

発行所●公益社団法人 日本オーケストラ連盟

編集・発行人 桑原 浩 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル棟7F

Tel:03-5610-7275 <http://www.orchestra.or.jp/>

印刷●錦明印刷株式会社 制作●音楽編集者倶楽部「カノン」/林優子